

望田自治会見守り活動開始

～向こう三軒両隣～

令和2年1月19日、望田自治会で防災訓練が開催されました。今回は那須水害を経験した「語りべ」石塚氏を招き、当時の様子に耳を傾けながら、災害の恐ろしさを再確認しました。

その後、社会福祉協議会から「地域住民助け合い事業」について住民17名に説明を行いました。また、災害の意識を高めるために、自分たちの地域の危険な場所を把握しておこうとハザードマップを作成し、同時に心配な人を把握する福祉マップも作成しました。マップは自治公民館に貼って、みんなで情報共有しています。

望田地区では、先祖代々の地域を守り通し、現在も住民同士のつながりが強い所です。そのご近所付き合いを続けながら、“見守る”意識をフラスする望田自治会の見守り活動が始まります！



社協が地域住民助け合い事業の説明を行いました。

ハザードマップと福祉マップを作成。



平成十年に災害を体験している石塚氏、地域の学校にも出向き語りをお聞かせしております。



忘れてはいけない那須水害と、地域住民の意識を高めるために、再度近所付き合いを見直しましょう。



那須塩原市社会福祉協議会



令和2年4月作成